

中野区初期消火機器操法大会

バケツ消火競技要領

中野区町会連合会

平成 23 年一部改定
平成 24 年一部改定
平成 25 年説明図一部訂正
平成 26 年 11 月一部見直し
平成 27 年 7 月一部見直し
平成 29 年 10 月一部見直し
令和 3 年 7 月大会名称等変更

バケツリレー競技審査基準

1 審査の目的

震災時における地域住民の初期消火能力の向上を図るため、バケツリレーによる初期消火技術の習熟状況を確認し、併せて隣保共助の備えを醸成することを目的とします。

2 審査員等

審査長 1名 (消防署 警防課長)

審査員 1名

タイム測定(兼 貯水測定) 2名

3 審査基準

「バケツリレー消火競技要領」によります。

4 審査要領

- (1) 審査は、指揮者の「集まれ」の号令から係員による終了合図までを対象とします。
- (2) 競技時間は90秒とし、的に向かって水をかけ、的の中に溜まった水量を計測します。
- (3) バケツは、8ℓのブリキ製を10個使用します。
- (4) 水量が同じ場合は、安全確実度、元気度、チームワークの良いチームを上位とします。

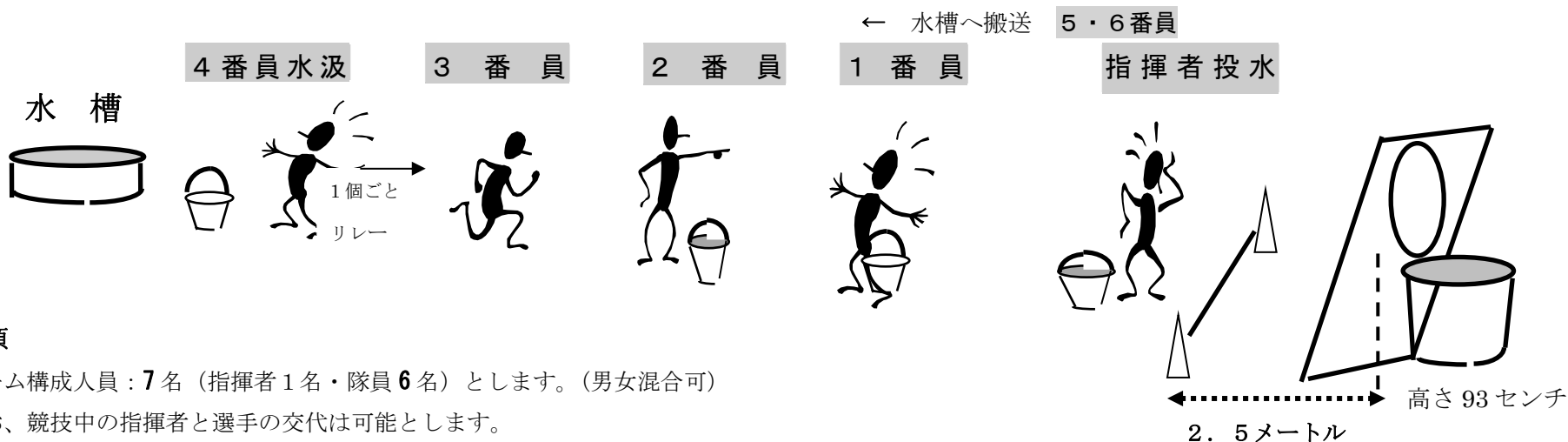
5 競技要領

- (1) **7人**操法とします。(指揮者1人、**隊員6人**)
- (2) 係員の指示により、待機場所から集合線に整列します。
- (3) 指揮者は隊員が開始線に集合した際に 声が聞こえる位置で正対します。
- (4) 指揮者の「集まれ」の号令で、隊員は 開始線に移動します。
- (5) 指揮者の「番号」の号令で、隊員は「1・2・3・・・」と発声します。
- (6) 指揮者の「位置につけ」の号令で、停止線までバケツリレーの位置につきます。
- (7) 指揮者の「操作—始め」の合図で、バケツリレーを開始します。
- (8) タイム測定は、指揮者の「操作—始め」の「め」から測定します。
- (9) **空バケツの搬送は、2名が担当**します。
- (10) 90秒後、係員の警笛による合図により終了します。
- (11) 終了後、速やかに開始線に戻り、待機場所へ移動後、指揮者の指示で解散します。

6 統一事項

- (1) 指揮者の「操作—始め」の号令まで、バケツに触ってはいけません。
- (2) 競技中の指揮者、隊員の交代は可能です。
- (3) 隊員の配置は自由であるが、リレー方式は崩さないでください。

バケツリレー実施要領概要図



統一事項

- 1 チーム構成人員：7名（指揮者1名・隊員6名）とします。（男女混合可）
なお、競技中の指揮者と選手の交代は可能とします。
- 2 バケツの数量等：容量8ℓのブリキバケツ10個
- 3 競技時間：90秒間とし、的の中に溜まった水量を計測する。
- 4 バケツの搬送方法：空バケツは⑤⑥番員2名が水槽まで搬送する。
- 5 ⑤⑥番員が搬送した空バケツは、必ず水槽付近の地面に置き、手渡しは禁止とする。
- 6 指揮者投水後の空バケツは手渡し又は地面に置く。
- 7 バケツを投げるなど危険行為は、大幅な減点とする。

実施要領

- 1 操法開始後、4番員が水を汲み、リレー方式で指揮者が投水する。
- 2 90秒間のバケツリレーした水の量を計測し、多い順に上位とする。
- 3 使用するバケツは10個とし、水の入ったバケツは、1個のみ次の人にリレーすることができる。

